



2017・12・21

第 293 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

本格化する自民党の改憲の動きと全面对決へ

自民党改憲推進本部が論点整理

自民党の憲法改正推進本部は20日の全体会で、これまで論議してきた4項目についての「論点整理」をおこないました。

最大の焦点である自衛隊の明記については、9条1、2項を残したまま新たに自衛隊の規定を追加する安倍案と、2項を削除して国防軍をおくという12年の自民党改憲草案の両案が併記されました。

緊急事態条項についても国会議員の任期延長の特例にとどめる案と、緊急時の内閣の権限強化まで盛り込む案の調整がないため、両論併記となりました。

教育無償化については、「無償」の文言を明記せず、「教育環境の整備」に関する努力義務を盛り込むこととし、参院選の「合区」解消については、都道府県から1人以上を選出する案が示されています。

推進本部は党内の意見集約が遅れたため、今回は「論点整理」にとどめ、年明け以降に党内外論議を活発化させたい考えです。

安倍首相がオリンピック便乗改憲発言

安倍首相は19日、内外情勢調査会の講演で、「五輪が開催される2020年、日本が生

まれ変わる年としたい。新しい時代の幕開けに向けた機運が高まる時期だからこそ、憲法について論議を深め、国の形、あり方を大いに論じるべきだ」と語りました。

事前にビラを配り各戸を訪問

【富山県高岡市／高岡地区9条の会】高岡市の三つの9条の会が参加する高岡地区9条の会は、11月25日に近現代史研究者の長谷川了一氏の講演会を開いて学習・交流するとともに、3000万署名について地域に入って3万5000人の署名を集める意思統一をしました。

対象地域には事前に独自に作成したビラを配布し、後日各戸を訪問し対話しながら署名を集める方式です。

一回目の行動は12月9日、同市泉が丘で実施。20人の参加者が200戸を訪ね、70人の署名を集めました。対話した家では比較的好意をもって迎えられ、ほとんどの人から署名してもらいました。

署名した男性(88)は、「戦地から父が生きて帰ったとき、まわりから冷たい目で見られた。当時は戦死が名誉だった」と戦争当時を振り返り、「戦争だけは、だめだ」と

語りました。一方「よくわからない」「安倍改憲大好き」と断る人もいて、運動の広がりがまだ不十分であることもわかりました。

改憲派との“鏢迫り合い”実感

【群馬県高崎市／六郷九条の会】 六郷

九条の会は11月4日、学園祭で賑わう高崎経済大学の門前で午後1時半から1時間、3000万署名の宣伝行動を行い、14筆の署名をいただきました。5名が参加しました。

一方、11月5日、高崎駅東口では自民党日本会議議員連盟と「美しい日本の憲法をつくる群馬県民の会」が自衛隊を憲法に明記することに理解をいただきたいと訴え、「ありかとう自衛隊」と書かれたチラシ1000枚を配布しました。同会担当者によると、最近では10代、20代がチラシを手にする比率が高く、若年層の関心の高さがうかがえるそうです（この項、産経新聞）。鏢迫り合いになってきました。（「六郷九条の会ニュース」NO24）

立憲野党と市民の共同を強め

【山形県／戦争法廃止を求めるやまがた県民の会】 やまがた県民の会（共同代表一小口裕之県平和センター議長、高木紘一県九条連絡会会長、50団体）は13日、山形市で代表者会議を開きました。

今後の活動について協議し、安倍9条改憲に反対する「3000万署名」を「県民の会」として来年5月を期限に30万人分をめざし全力で取り組むことを確認。会の名称を「安倍9条改憲NO！やまがた県民の会」に変更しました。また、▽戦争法施行2周年の3月29日に集会▽5月3日憲法講演会一に

取り組みます。

協議に先立ち、民進党県連の石黒覚政調会長、共産党の本間和也委員長、社民党県連の阿部典子副代表、新社会党県本部の中村平治委員長があいさつしました。

共産、社民、緑の党代表があいさつ

【川崎市川崎区／市民集会実行委員会】

太平洋戦争開戦78年目の12月8日、川崎市川崎区で安倍政権の改憲に反対する市民集会が行われ、共産党、社民党、緑の党の各党代表が参加し、あいさつしました。

主催は「『安保法制』廃止オール川崎市民集会実行委員会」。川口洋一代表は「3000万署名をきっちり集め、行動し、改憲の危険さを知らせよう」と主催者あいさつ。

「安倍9条改憲NO！全国市民アクション実行委員会」「生田9条の会」「教育に憲法を生かす川崎市民の会」の代表者がリレートークし「改憲発議させない世論を盛り上げよう」などと語り、3000万署名の取り組みを広げる決意を表明しました。

共産党の畑野君枝衆院議員、社民党県連の佐々木克己副代表、緑の党の西村光子さんがあいさつしました。

集会後、参加者280人は「皆の力で平和を守ろう」「立憲野党と市民は共闘を」などとコールしながら区内をデモ行進しました。

意気高く市民アクション発足

【富山県／市民アクションとやま】 「安倍9条改憲NO！市民アクションとやま」のスタート集会が10日、富山市で開かれ、会場にあふれる130人が参加。9条改憲阻止への熱気が高まる集会になりました。

同会は県内の元首長、大学教員、弁護士、医師、歯科医師、僧侶、音楽家、造形作家、歌人、ジャーナリスト、市民団体代表 17 人の呼びかけに応え、11 月 29 日に発足。オールとやま県民連合や「9 条の会」県連絡会、県平和運動センターら 9 団体が事務局団体になり、44 団体が賛同しています。

同会の共同代表で自由法曹団の永谷敏彦弁護士が「安倍改憲論の問題点」と題してミニ講演。共同代表の土井吉三元小杉町長が、憲法学習を強めながら全自治体、地域、職場で署名をすすめ、地域、職場に「市民アクション」をつくって、来年 5 月末までに県内 25 万～30 万人分の署名を集めようと提案しました。

活動交流のなかで、9 条の会県連絡会の藤田政治代表幹事は、県連絡会として 3 市で学習会を開き、11 月 3 日に富山駅前で宣伝し、12 月 9 日には高岡市で各戸訪問する署名が始まったと紹介。署名とともに地元出身の国会議員に 9 条改憲ノーの態度をとるように訴えていくと述べました。

署名目標決め、9 の日に行動

【京都市左京区／市民アクション】「安倍 9 条改憲 NO！憲法を生かす全国統一署名」（3000 万署名）を集める運動のうねりを京都市左京区からつくろうと 12 日、「安倍 9 条改憲 NO！左京市民アクション」の結成のつどいが京都大学でおこなわれ、100 人をこえる参加がありました。

宇宙飛行士で京都造形芸術大学教授の秋田寛真氏、関西大学名誉教授の鯨坂真氏、「安保関連法に反対するママとみんなの会 @京都」の西郷南海子氏など、左京区ゆか

りの著名人ら 17 人がよびかけました。行政区独自の「市民アクション」結成は、京都市内では初となります。

つどいでは、左京区在住の福山和人弁護士が講演し、自民党の憲法改正草案とも対比しながら、あらためて日本国憲法の魅力を明らかにしました。

署名目標を 3 万 6000 人分とし、「9」の付く日には署名・宣伝行動にとりくむことなどを提起した「結成宣言」が拍手で確認されました。

街頭での宣伝・対話で世論を結集

【山形県／九条の会山形市連絡会】九条の会山形市連絡会は 11 日、山形市で安倍改憲 NO の 3000 万署名にとりくみました。

九条の会の人たちがビラを配り、市民と対話、安倍首相による憲法改悪をストップさせようと署名を呼びかけました。自民党が来年の通常国会に憲法 9 条に 1 項 2 項を残し新たに自衛隊を明記した改憲案を提出し、国会発議を狙っていると告発、改憲を市民の力で阻止しましょうと訴えました。

底冷えのするなか、市民が足を止めて署名しました。

70 代の女性は「総選挙で自民党が議席の上で勝ったといっても、憲法を変えていいなんて国民は言っていません。改憲には反対です」と話しました。

別の女性は「9 条があるから 72 年間、戦争をしないで平和に暮らせたのだと思います。何も変える必要はありません、頑張ってください。ご苦労さまです」と話し、ペンを走らせました。

自衛隊を憲法に書き込めば戦争する国

【青森県／青森県九条の会】 「安倍9条改憲NO3000万署名をよびかける街頭宣伝が13日昼、青森市で行なわれました。

氷点下の寒さと雪の降るなか、新町商店街の行動には、県九条の会をはじめ各種団体から20人が参加しました。

県九条の会の谷崎嘉治共同代表らが「自衛隊を憲法に書き込むことは、戦争法の合憲化と『戦争する国』づくりが狙い。3000万署名でストップさせよう」と訴えました。

参加者は、安倍改憲阻止へ共同を呼びかける「12・8青森市民集会のアピール」を配布し、ぜひ署名をと声を上げました。

街頭では、手袋を外してペンを握る人や、「安倍首相は本当に憲法を変える気なのか」「安倍政治には反対です」と声を寄せる市民が署名しました。

街頭で署名した人が知人にも訴え

【東京都江戸川区／九条の会葛西】 10月号の「葛西だより」で、取り組みをお知らせし、10月9日の葛西駅から著名活動を始めました。(19日の西葛西駅は土砂降りで中止) 11月から、賛同者のお宅を訪問し、署名用紙や返信用封筒をお渡しして協力をお願いしました。

11月9日までの1カ月で、駅頭、世話人の取り組み、賛同者か駅で用紙を受け取った方の返信(約40通)などで、400筆を超える署名が集まりました。

12月20日の第一次集約を待たずに達成でき嬉しいかぎりです。早速、「九条の会」本部に送りました。

《北葛西5丁目 Aさんのお手紙より》

たまたま幼なじみの友だちを葛西駅で待っていた折、署名を訴えられました。その時いただいたニュースに署名用紙も入っていたので、難しい話をしなくてすむ人たちに書いてもらいました。

是非、九条をこのままずっと日本、いやどんな国でも掲げて、どの国・地域にも戦争がなくなり、戦争に費やされる莫大なお金が、飢える人や、難病の人や、難民の人たちに使えたらと思っています。

思うだけで、何もできませんが、署名だけでも手渡したいと同封します。

(10月9日、葛西駅で署名取り組みのスタートをしました。当日、署名してくださった方です)

(「九条の会葛西だより」130号)

核兵器禁止条約不参加の政府批判も

【宮城県／県内九条の会連絡会】 宮城県内九条の会連絡会は12日、安倍9条改憲をなんとしても阻止しようと仙台市の繁華街で「3000万署名」を訴えました。

気温一度で、雪が降りしきる仙台市。「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす署名」と書いた横断幕を掲げ、署名をよびかける元気な声が響きます。

名取九条の会の後藤不二夫代表世話人は、自衛隊を9条3項で書き加える安倍首相の9条改憲が「軍事によらない平和から、軍事による”平和”になる」と批判しました。

「中学の時に、9条が大事という話の演劇をやったので改憲には反対です」といつて署名したのは、仙台市泉区の女性(25)。

「核兵器禁止条約に貢献した団体がノーベル平和賞を受賞したのはよかったけど、唯

一の被爆国の日本政府が条約に参加しないのはよくない」といいます。

仙台市青葉区の女性（73）は「憲法を変えず若い人に残したい。9条変えて戦争する国にしてはダメ」とペンを握りました。

自転車を押して歩く人も署名し、「寒い中ご苦労さま」と声をかける市民がいました。

署名を訴えた県連絡会事務局の阿部比佐久さん（72）は「安倍改憲で死文化する恐れのある『戦力は保持しない、交戦権は認めない』と明記した9条2項は世界に誇れる日本の宝です。署名を広げに広げたい」と決意を語っていました。

顔を合わせられない人には封筒で

【宮城県名取市／名取九条の会】 12月10日午前6:30～1時間。10名の参加で、横断幕、幟、ポスターの署名セットを活用し宣伝・署名を実施しました。署名を31筆集約し、チラシ(署名用紙を折り込みしたもの)約100枚配布した。多い集約ではなかったが、真新しいグッズの宣伝効果はあったようです。署名してくれた方の3割程度は仙台の人、福島の前馬からの方も4人おられた。

名取市全体で15,000筆、その内名取九条の会は3分の1、5000筆を目指して活動しています。呼びかけ人およびニュース会員で日常的に顔を合わせられない方主体に返信用封筒を準備し、署名用紙、署名のお願いと留意事項を記したものを配布しました。35通120筆ほどが返送されてきています。1000戸の団地を設定して、県連絡会作成の封筒を配布して署名の要請を行う予定にしています。

(メールニュース「みやぎ九条」NO264)

「若い僕らが戦争に？」の質問も

【札幌市西区／琴似・山の手9条の会】 “思想・信条の違いを超えて憲法改悪に反対を”と、札幌市西区で活動する「琴似」と「山の手」9条の会は7日、琴似駅前では安倍9条改憲NO!の「3000万署名」をよびかけました。

手作りの横断幕「子どもたちに平和を」やプラカード「ヒタヒタと近づく戦争の足音」「いいね日本の憲法守ろう育てよう」を掲げてビラを配りました。

「憲法を変えることに反対する署名です」の声に30代の男性が立ち止まり、「自衛隊が軍隊になったら若い僕らが戦争に行かされるんですか」と質問。メンバーの説明に納得して署名しました。

「安倍首相はアメリカの武器を買います。トランプ大統領のいいなり。北朝鮮と米国は互いに批判ばかり、戦争になれば、日本がまきこまれるのでは」と話す女性も。

3000万署名の取り組みに決起

【大阪府／九条の会・おおさか】 「九条の会・おおさか」は13日、渡辺治・一橋大学名誉教授を迎え、大阪市内で講演会を開き、400人が参加しました。

渡辺氏は「総選挙後の改憲をめぐる情勢とたたかひの展望」と題して講演。解散・総選挙は、安倍晋三首相が安倍政権に立ちだかる市民と野党の共闘の分断を狙ったものと指摘。一度は分断に成功したが、立憲民主党の結党など、共産党を含む各地域での市民と野党の共闘の蓄積と働きかけにより、安倍首相のねらいの半分は失敗した

と強調しました。

安倍改憲を阻むかつてない共同として「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」の役割を力説し、3000万人分の署名を集めることは「大きな目標」だが、「安倍9条改憲に危惧をもつ『声なき声』はある」とし、署名を通じて「声ある声」に変えようと呼びかけました。

九条の会・おおさか事務局長の吉田栄司 関西大学教授は「すべての『九条の会』がそれぞれの地域、職場で3000万署名の取り組みに、年内から動き出そう」と呼びかけました。

九条の会事務局のよびかけ読み上げ

【群馬県／群馬ネットワーク】 毎年恒例となった「9条の会」群馬ネットワークの交流会は、10月9日に前橋市総合福祉会館で開催されました。安倍首相の疑惑かくし解散により公示の前日で開催が心配されましたが、当日は県内各地から200名をこえる参加者が集いました。

午後1時半に司会の富田さん（高崎・豊幡9条の会）が開会を宣言、県ネットワーク座長の飯田さん（かいがや9条の会）が主催者挨拶を行いました。この中で「九条の会事務局」が9月6日に発表した訴えを読み上げ、安倍9条改憲を阻むため3つの課題を提起、①全ての会が学習合を持つ ②3000万署名達成のため9条の会毎に目標を持ち行動を起こす ③他団体と協力しあって「市民アクション」を立ち上げ積極的に参加する、を確認し、「いそがしい中でも参加して良かった」とみんなが確認出来る集会になりました。（「かいがや9条の会だよ

り」NO126)

「9条まつり」で学んで楽しんで

【仙台市青葉区／大沢九条の会】 大沢九条の会は恒例の「憲法9条まつり」を11月26日、ドミニコ修道院で開催しました。当日は、心配していた天気も回復、穏やかな小春日和に恵まれ、80名ほどの方に参加していただきました。

オープニングは、モキハナ広瀬の皆さんにフラダンスを踊っていただきましたが、観客の皆さんも踊りに合わせて一緒に手を動かされて、和やかな空気になりました。

「しゃべり場」は、山田いずみ弁護士に昨今の北朝鮮の脅威を利用した9条改憲の動きなどについて、子育て中のお母さんのおひとりとしての目線も交えて話していただきました。憲法9条ではこの国の平和と安全は守れないのか、アメリカの軍事力に依存し、その軍需産業に高いお金を払ってミサイル防衛を強化するのはどうか、これからも議論を深めていきたいと思います。

「うたごえ喫茶」は、仙台在住の若いピアニスト菊地拓郎さんの「若い広場（サザン）」の演奏で始まり、次いで懐かしの昭和歌謡、さんぼ（となりのトトロ）、ビリーブ、アンコール曲の「涙くんさよなら」まで拓郎さんの「心をやさしく奏でてみたい」という思いを受けて、皆さん大きな声で歌って大変盛り上がりました。（大沢九条の会ニュースより）

＜事務局から＞ 「九条の会ニュース」1月1日号は休刊とさせていただき、新年は1月11日号からの発行とさせていただきます。